

## 県北地域で県内初ツマジロクサヨトウの発生を確認！

令和2年8月、県北地域に設置した性フェロモントラップにおいてツマジロクサヨトウと疑われる成虫が捕獲され、農林水産省横浜植物防疫所でツマジロクサヨトウと同定されました。

ほ場等で、疑わしい幼虫を確認した場合、速やかに当所まで御連絡ください。



## ツマジロクサヨトウについて

- ・日本では昨年7月に、鹿児島で初めて発生を確認以降、全国で確認事例が増加
- ・**飼料用とうもろこしで多く発生しているが、スイートコーン及びソルガムでも発生を確認。**早期発見・早期防除が不可欠
- ・防除する場合には、ハスモンヨトウやメイチュウ類等に適用のある農薬を使用して防除が可能  
※使用できる農薬については、農水省 HP「ツマジロクサヨトウの防除に使用できる農薬一覧」参照  
[https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k\\_kokunai/tumajiro.html](https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k_kokunai/tumajiro.html)

### 幼虫の食害による被害



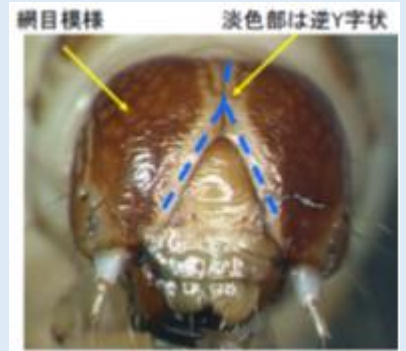
幼虫が葉、茎、子実を食害

### 飛翔距離が長い、繁殖力が強い



- ・気流に乗って長距離移動する
- ・1回の産卵数は150~200個
- ・生涯産卵数は最大1000個

### 形態の特徴



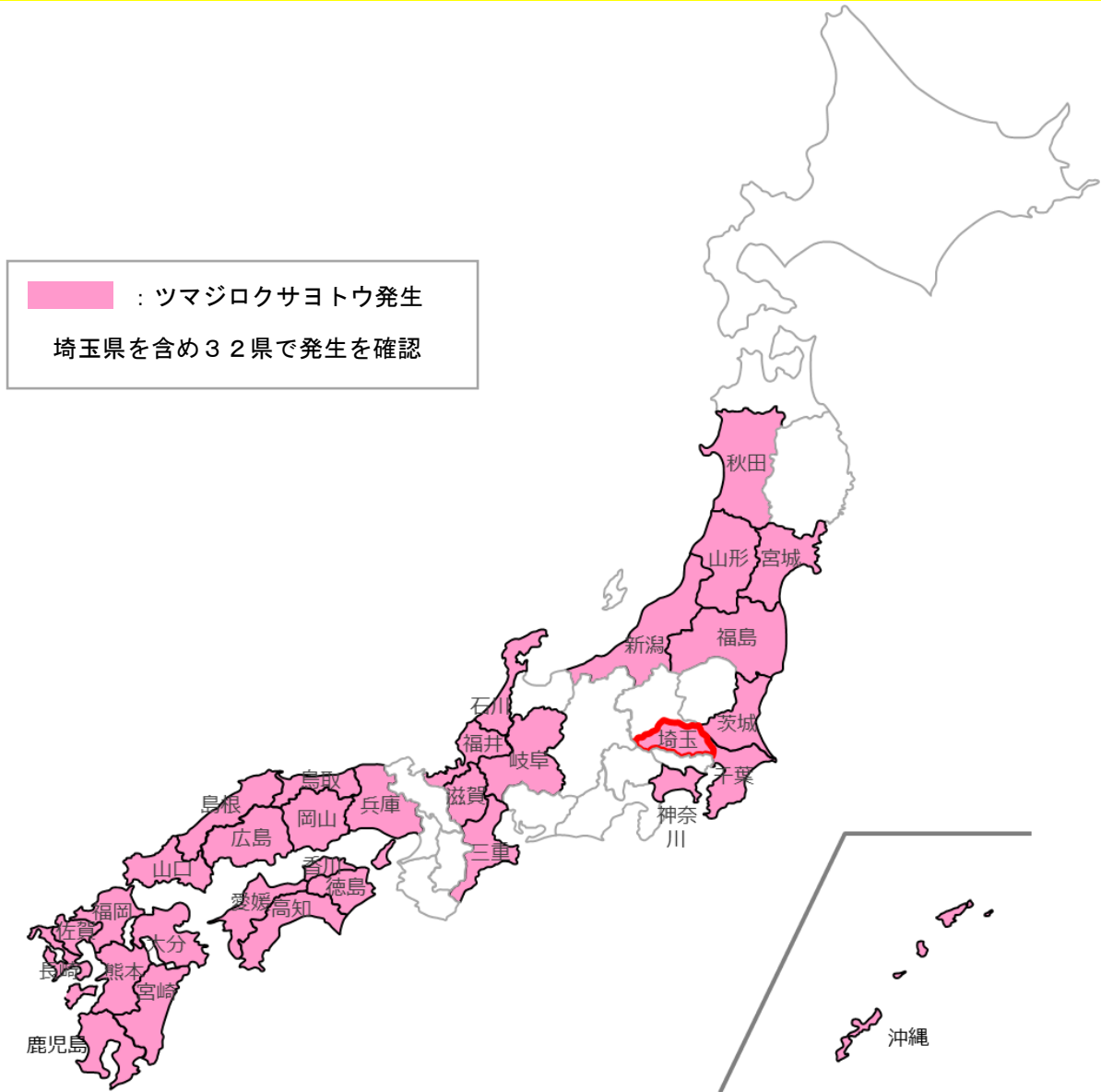
- ・幼虫の頭部には網目模様があり、「逆Y字」に見える。
- ・幼虫の体長は、1.7~40mm

埼玉県中央家畜保健衛生所（さいたま市北区别所町 107-1）

TEL:048-663-3071

（24時間、土日祝日も受付）

参考：ツマジロクサヨトウ発生状況（令和2年8月24日現在）



## 🐷 栃木・群馬県内で家畜の盗難が相次いで発生！

栃木県足利市では農家2戸から子牛6頭、群馬県前橋市では養豚場4か所から子豚170頭が盗まれる事件が発生しています。

豚では、豚房から少しずつ盗んでいるため、気づきにくい事例も見られました。

頭数確認や畜舎の施錠及び防犯設備の設置などの対策を徹底し、被害の未然防止に努めてください。万が一盗難現場に遭遇した場合は、速やかに警察へ通報するなど、対応をお願いします。